

講座番号	2024-C		
個別講座名	IPW を促進する F-SOAIP 研修		
担当教員	○ 嵩末 憲子、小嶋 章吾（国際医療福祉大学大学院 特任教授）2 回目と 3 回目 ※受講者の領域等によりゲスト数名：3 回目		
開講日時	1 回目：6 月 14 日(金) 10：00～17：00 2 回目：8 月 2 日(金) 10：00～17：00 3 回目：9 月 20 日(金) 10：00～17：00		
総時間数	研修時間数：18 時間（6 時間×3 日間） 履修証明プログラムにおける時間数：24 時間* *1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）		
講義概要	※3 回とも講義および演習ワーク（個人・グループ）を実施する ・ F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ ・ F-SOAIP による IPW を理解する～マイクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～ ・ 先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容や DX を展望する ※ゲスト：受講者の目標や職種をふまえ、多機関多職種より依頼		
到達目標	F-SOAIP の講義や書換えワーク、伝達研修などを通じ、IPW の実践変容や諸課題解決に役立て DX を展望できるようにする。		
講義内容及び方法	開講日	講義内容	講義方法
	6 月 14 日(金) ※オンライン	『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』 ・ F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策） ・ P D C A サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW ・ 諸課題との関連 ・ IPW を可視化する F-SOAIP の理解 ・ F-SOAIP の書換：I P W に役立つ場面 ・ 新たな挑戦を意味づけるリフレクション	※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出
	8 月 2 日(金) ※オンライン	『F-SOAIP による IPW を理解する～マイクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』 ・ 第 1 回リフレクションや課題等を共有 ・ 講義（質問対応と F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用・分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等）、F-SOAIP アプローチ ・ I P W に着目したリフレクション	※7/19 までに F-SOAIP ワークシート【導入版】と質問を提出
	9 月 20 日(金) ※オンライン	『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW や DX を展望する』 ・ 第 2 回リフレクションや課題等を共有 ◆ゲスト数名による実践報告・交流 ・ F-SOAIP 好循環モデルの作成・共有 ・ I P W の好循環に向けたリフレクション	※質問・どちらかを提出 F-SOAIP ワークシート【OJT 版】（9/6 まで） IPW・F-SOAIP 実践シート（9/13 まで）
事前学習	受講前に F-SOAIP の HP（ https://seikatsu.care/ ）より、2023 年度受講者による専門雑誌での実践報告テーマ等をご確認ください Zoom を使用して実施します。基本的な操作方法などは、各自でご確認ください。 研修当日は一人 1 台使用できるパソコンをご用意ください。（タブレット不可） 受講にかかる通信費は受講者負担となります。 ※参考書「医療・福祉の質が高まる生活支援記録法 F-SOAIP」		